

普及情報

データベースを活用した繁殖和牛経営指導

繁殖和牛経営で「我が家の母牛たちの成績、能力」を把握することは重要である。南・北淡路普及センターでは、平成6年に淡路畜産農業協同組合連合会（以下淡路畜連）の協力により、子牛せり市情報などをデータベースとして利用できるシステムを開発し、農家指導に活用しているので、その概略について紹介する。

1 データベースの概略

このデータベースは、淡路畜連及び中央農技などから提供された子牛せり結果、子牛登記、枝肉成績のデータによって構成されている。パソコンに農家名を入力することによって、農家ごと、母牛ごとに仕訳された上で、出荷した子牛の日齢、体重、価格、D.G.、分娩間隔などを表示することができる。

データ数（平成11年12月16日現在）

子牛せり市データ：	85,855件
子牛登記データ：	116,839件
枝肉成績データ：	13,748件

2 データベースの活用方法

①母牛系統の整備

せり市成績や枝肉成績はあくまでも「子牛の成績」であって、母牛の能力を保証するものではない。しかし普及センターではこのデータベースを「繁殖性」や「飼い易さ」などとともに母牛能力の有効な判断材料の一つと考え、母牛系統の整備について個々の農家と検討している。農家の反応も「この牛、市での値もええけど、やっぱりええ肉の成績が出とんのか。残していかなあかんなあ。」などなど。独自に

枝肉成績情報などを集めている熱心な農家もおり、それらの情報も踏まえて検討することも多い。

②研修会での情報提供

部会などでの研修会資料としても活用している。個人情報であるため、本人へ直接渡した上で説明しているが、婦人部などの活動を通じて地域での優良系統牛の保留を進めようと考えている。

以上のほか、年度ごとに種雄牛別成績をまとめるなど、市場動向の把握にも活用している。

3 今後の取り組みについて

農家指導に使うことはもちろんのこと、産地としてこの情報を積極的に活用していくべきであると考えている。先進地域での情報の活用事例を研究するとともに、関係機関、団体との十分な協議の上で活用していきたい。

また、データは多ければ多いほど信憑性が増す。特に枝肉成績については県内で肥育された分の一部だけであり、県外分も含めた情報の収集強化を行うことが急務であると思われる。

亀喜 淳一（北淡路普及センター）



イベントでの「母牛成績コンピュータ診断」

ひょうごの農業技術 No.108

平成12年3月1日（隔月刊）

1部250円（申込先・県立中央農業技術センター）

兵庫県立中央農業技術センター（0790）47-1117
兵庫県立北部農業技術センター（0796）74-1230
兵庫県立淡路農業技術センター（0799）42-4880